

(6) 高齢者の自殺

平成24（2012）年における60歳以上の自殺者数は11,048人で、前年に比べ約5%減少した。年齢階層別にみると、24（2012）年は60～69歳は4,976人と前年に比べ約10%減少した（図1-2-6-20）。

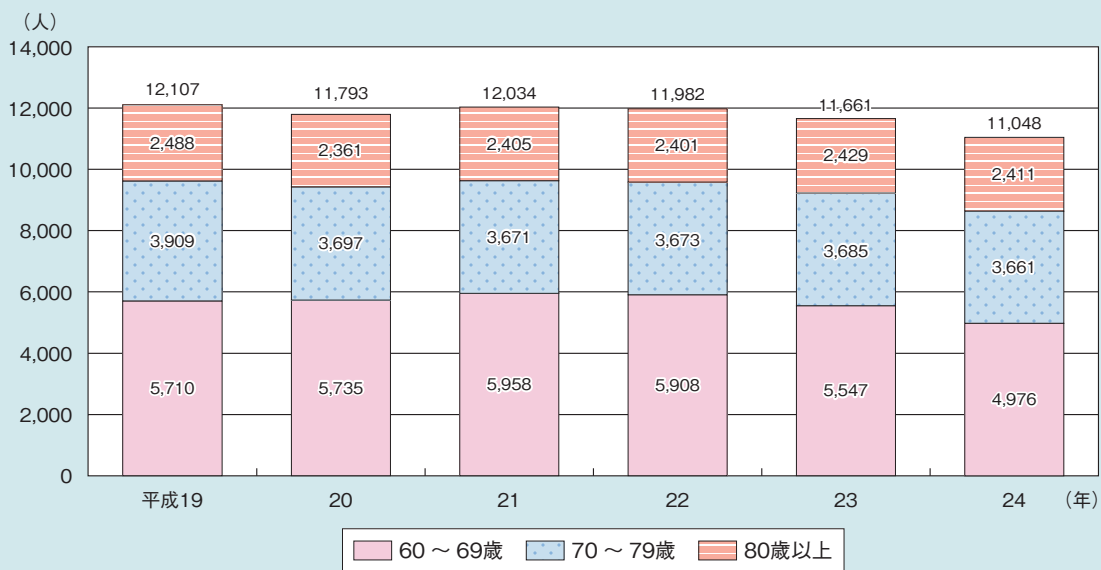
(7) 東日本大震災における高齢者の被害状況

平成23（2011）年3月11日に発生した東日本大震災における高齢者の被害状況をみると、被害が大きかった岩手県、宮城県、福島県の3県で収容された死亡者は25（2013）年3月11日までに15,812人にのぼり、検視等を終えて年

齢が判明している15,681人のうち60歳以上の高齢者は10,360人と66.1%を占めている（図1-2-6-21）。

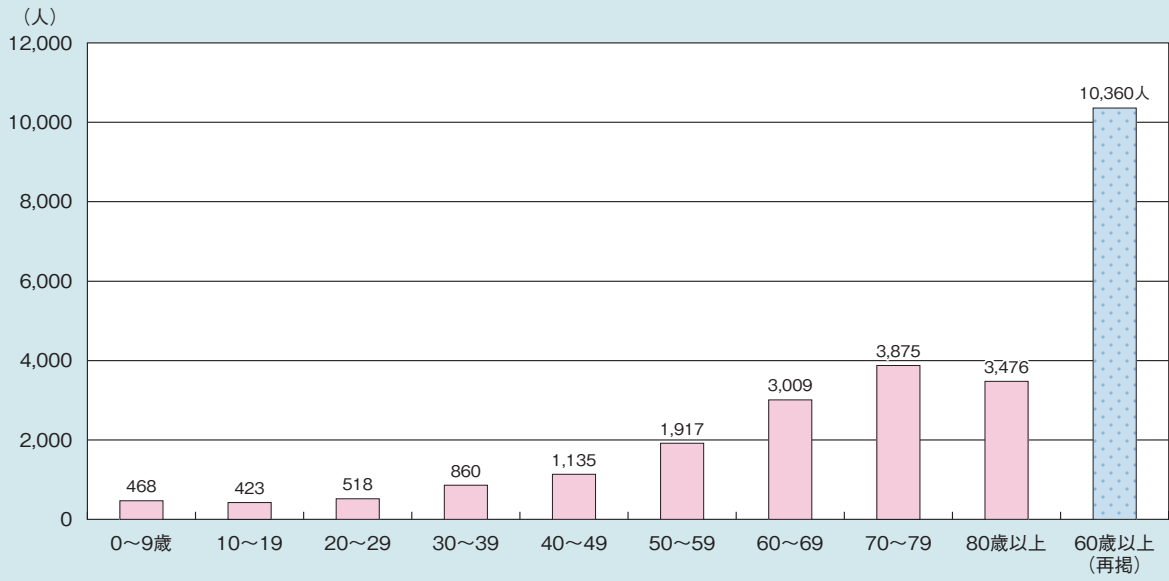
また、東日本大震災における震災関連死の死者数は、平成25（2013）年3月31日時点で2,688人にのぼり、このうち66歳以上が2,396人と全体の89.1%を占めている。「震災関連死の死者」とは、「東日本大震災による負傷の悪化等により亡くなられた方で、災害弔慰金の支給等に関する法律に基づき、当該災害弔慰金の支給対象となった方」と定義。（実際には支給されていない方も含む。）

図1-2-6-20 高齢者（60歳以上）の自殺者数の推移



資料：内閣府・警察庁「平成24年中における自殺の状況」に基づき内閣府が作成

図1-2-6-21 年齢階級別死亡者数



資料：警察庁「東北地方太平洋沖地震による死者の死因等について【23.3.11～25.3.11】」より
 ※検視等を終えて年齢が判明している者を集計